



「伝統と実績の100周年。未来へつなぐ愛情教育」
2018年 駿台は創立100周年を迎えます

2017年2月7日
学校法人 駿河台学園 広報部

2016年度
第1回駿台・ベネッセマーク模試における「都道府県別 現役生志望大学状況」
国公立大・私立大とも地元志向が鮮明

2016年9月に実施された「第1回駿台・ベネッセマーク模試」(受験者数 427,434人)における現役生の在籍高校所在都道府県別の志望大学(国公立大は日程別第1志望の合計、私立大は総志望)の集計結果です。

【本件のポイント】

- 国公立大の志望状況において 47 都道府県中、京都府、奈良県を除く 45 都道府県の志望大学第 1 位は地元大学となり、地元志向が鮮明。
- 私立大の志望状況において 47 都道府県中、19 都道府県で地元大学が第 1 位。
(北海道、岩手県、栃木県、東京都、新潟県、石川県、山梨県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、愛媛県、福岡県、熊本県、沖縄県)
- 東北地区の東北学院大、東海地区の名城大、九州地区の福岡大などの大学は、各ブロック内の各県で志望者数 1 位が多い状況も考慮すると、私立大においても地元志向は強いと言える。
- 文科省は、2016 年度より首都圏など大都市部への大学入学者集中を解消するため、私立大への補助金が不交付となる大学定員超過率の規準を厳格化。
- 首都圏私立大においては地方出身者入学促進のため、給付型奨学金を増加。

【本件の概要】

文科省は大都市部への大学入学者集中を解消するため、私立大への補助金が不交付となる定員超過率を厳格化し、大都市圏の私立大は地方出身者の入学促進を図るため給付型奨学金の準備を進めています。

駿台では「第1回駿台・ベネッセマーク模試」における現役生の在籍高校所在都道府県別の志望大学の集計をまとめた結果、国公立大・私立大とも地元大学への志望者数が多く、受験生の地元志向が鮮明となりました。

本件の資料が必要な場合やお問い合わせは、駿河台学園広報部(担当:中村)までご連絡ください。

(学)駿河台学園 広報部
TEL 03-5259-3231
FAX 03-5259-3057
E-Mail public-s@sundai.ac.jp